

R6年度 施設関係者評価 評価報告書

評価項目	評価基準	評価内容・コメント
1. 研修内容の充実度	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修テーマが施設の実情に即していたか</li> <li>保育の実践に役立つ内容が多かったか</li> <li>専門的知見がどれくらい反映されていたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修テーマについて、参加対象者の経験年数やこれまでのキャリアに基づいて適切にテーマが設定されていた。その時々求められる資質を身に付けることにつながっていたことに加え、多くの保育者が抱くと考えられる悩みの解決にも資するテーマとなっていた。また、経験年数ごとの横割りにすることで、異なる園の実践について触れられる点、自身のキャリアの見通しについて考える機会になったと思われる点なども評価できる。</li> <li>内容については、身近な事例に即して展開されており、「明日の保育に活かしてみよう、やってみよう」と思えるものであった。</li> <li>園内職員の相互の専門的な知見を出し合えるグループワークと併せて、保育のICTシステムの研修事例なども適切に用いることで、最新の専門的な知見を研修に取り入れることができていた。</li> </ul>
2. 研修担当の専門性	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当の知識や経験が豊富であったか</li> <li>質疑応答やディスカッションにおいて、専門的な視点を提供していたか</li> <li>講師の説明が分かりやすく、理解しやすかったか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修に向けて、参加者の悩みが解決されるように、また段階を追って理解が深まるように、さらには気軽に楽しく研修に取り組める様にとの研修担当者の配慮が感じられた。研修担当者の興味関心があるもの(集団遊びなど)が紹介される場面もあり、温かい心遣いが参加者に伝わっていたように思う。</li> <li>参加者への問いかけや話題提供の流れの中で、自然と保育の専門的な視点に基づいて課題を考えられるよう工夫されていた。</li> <li>講師の説明は、具体的に理解しやすいものだった。</li> </ul>
3. 研修の実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>理論と実践がバランス良く取り入れられていたか</li> <li>研修の進捗がスムーズであったか</li> <li>参加者が積極的に関わる機会があったか(グループワーク、事例研究など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理論だけ、実践だけにかたよらず、理論を通じて実践でやりたいや試してみたいことが見えてくるように、また、実践を振り返ることで理論的な理解も深まる様にと工夫されていた。</li> <li>研修の進捗はスムーズであった。Zoomによる遠隔での参加については、ごくまれに音響等に手間取る場面もあったが、今後技術面で改善していくと思われる。</li> <li>経験年数に合わせて話しやすい話題でのグループワークが設定されていた。また、同法人内で異なる園の職員とのグループワークでは、適度な距離感を保ちつつ話せる点、他の職場の実践を聞くことができる点が、話しやすさに寄与していたと思われる。</li> </ul>
4. 研修の適切な時間配分	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修内容に対して適切な時間配分がなされていたか</li> <li>休憩時間や質疑応答の時間が適切に設定されていたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おおむね適切な時間配分であったが、グループワークでの事例検討などは、話が盛り上がり「もう少し時間が欲しい」と話し足りないようすが感じられた場面もあった。</li> <li>休憩時間や質疑応答の時間は適切に設定されていた。</li> </ul>
5. 研修後のフォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修後のサポートが充実していたか</li> <li>質問や問題解決のための情報提供があったか</li> <li>研修内容を職場で活かせるような具体的なアドバイスがあったか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修後はアンケートが取られ、それぞれの参加者の学びが可視化されていた。また今後の研修に対しての期待も述べられており、次の研修につながることも、そこで感じた課題意識は毎日の保育の意識向上にもつながっていることと思う。</li> <li>また、研修についてそれぞれの職場に戻って報告する際に、参加しなかった職員のコメント等でも、その職場での保育に即した具体的な学びが広がることを期待できる。</li> </ul>
6. 参加者の満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修全体の評価</li> <li>研修を受けて、参加者が得た知識やスキルを実際に保育業務にどう活かそうか</li> <li>研修を通じて自分の仕事に対する意欲が向上したか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートより、参加者が保育に活かせる学びを得ていることが分かる。年間を通し計画的に開催されていることで、段階を追って理解が深まり、「この前の研修でやったことがこのように生かされた」と報告できるために、自身の成長や手応えを言語化し共有できることも、高い満足度につながっているのではないかと。</li> <li>研修を受けて、自分の経験に応じた職場での振る舞い(今の自分だからこそこできること、今の自分が期待されていること)を客観的に理解することにつながっている。子どもに対しても、共に働く職員に対しても、「こうやってみよう」と具体的な学びのある内容であったため、それぞれの参加者が「明日から〇〇を試してみよう」ととりくめていることが感じられる。</li> <li>上記のことから、仕事への意欲も向上していると推察される。</li> </ul>
7. 改善点・今後の期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の内容や進行における改善点があれば</li> <li>次回以降の研修に期待する点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記にも述べた通り、盛りだくさんな内容の際には「もうちょっと話したい、時間が欲しい」と思えることもあった。内容を精選する、時間の配分を見直すことなども、回を重ねる中で工夫し、改善していけると考える。</li> <li>今後に向けて、これまでに好評だったテーマに加え、個々の保育内容を見直したり、社会的なニーズや保育のなかで注目されているキーワードを取り上げるなど、先生方の悩みに応え乍ら保育をアップデートできる研修であり続けることを期待する。</li> </ul>